



わたしたちの願い
篤き志 強い体 広い心



「ペガちゃん」
(南薩少年自然の家マスコット)

〈問い合わせ先〉 県立南薩少年自然の家
〒899-3404 南さつま市金峰町高橋3252
(電話)0993-77-2500 (FAX)0993-77-1929
(ホームページ) <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/>
ホームページは [こちらから→](#)



ココロオドル(心躍る)直接体験

所長 中原 明美

「もう、いつもは親から一切離れないのに、空き缶ポップコーン作りに一人で行ってしまっ。」と、先日開催された「なんさつ春フェスタ」の総合受付で、参加していただいた保護者から聞かれた言葉です。その後、急いで引換券を購入し、我が子のもとへ走る保護者の心情をうかがい知ることはできませんでしたが、ココロオドル(心躍る)直接体験に出会えた子どもの姿を想像しながら、にんまりとしてしまいました。

さて、コロナウイルス感染症の感染拡大により、子どもの体験活動の減少に拍車がかかる中、県内の青少年社会教育施設における体験活動は、人づくりの“原点”であるとの認識の下、地域の特色を生かし、発達の段階に応じた意図的・効果的な体験活動を推進しております。また、体験活動の効果や意義には、自尊心、自己肯定感、自律性、協調性、積極性といった非認知能力の醸成や物事に対する意欲の向上があるといわれています。

今年度も多くの皆様に当施設を御利用いただき、1月に利用者数180万人達成記念セレモニーを開催することができました。心から感謝申し上げます。令和5年度も「わくわく入所 まんぞく退所」を motto とし、丁寧な対応を継続してまいります。当施設の入口には、鹿南少マスコット「ペガちゃん」も南さつま市の砂の祭典PR砂像となり、皆様のお越しをお待ちしております。



まるごと自然の家

in枕崎

なんさつ

春フェスタ

2月5日(日)に3年ぶりに開催し、鹿児島水産高等学校と枕崎市観光協会の協力を得て、盛りだくさんの活動を行いました。子どもたちは普段できない活動に喜んで取り組み、子どもより満足した保護者の顔を見ることができました。



3月5日(日)に2年ぶりに開催することができました。7つの団体に体験ブースを出展していただき、家族の楽しそうな表情がたくさん見られた一日となりました。

南さつま市立加世田中学校、南さつま市少年少女合唱団のみなさんが、吹奏楽の演奏や合唱で会場を盛り上げてくれました。



4・5月の主催事業

	事業名	対象・募集定員
4月30日(日)	なんさつオープンデー	どなたでも
5月20日(土)	大人の一日遠足	成人20人程度 ※託児あり
5月27日(土)	ヤングメイツセミナー ~子どもたちの活動を支援するための基礎講座~	中学生・高校生・大学生等20人程度

※ 詳細につきましては、南薩少年自然の家ホームページ等でご確認ください。

鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」Bブロック(南薩地区) 特集

県内4つのブロックで開催された有為塾では、12人の中高生が、南薩少年自然の家を拠点として「鹿児島県の水産業」をテーマに1年間活動しました。その様子をご紹介します。

地域学習会① 6/18

地域学習会② 7/16~7/17

地域学習会③ 12/3~12/4

まとめの会 2/18

枕崎市漁業協同組合や枕崎市観光協会の方から、「南薩の水産業の現状と携わる人々の思い」について講話を聞きました。初めて出会った12人の仲間と、いよいよ有為塾スタートです。

枕崎市漁業協同組合や鹿児島水産高等学校の協力を得て、「鰹の水揚げ」「鰹の冷凍保管」「水産業の人材育成」など、南薩の水産業を見学したり体験したりしました。

「鰹節の魅力をもっと広めたい」という鰹節生産者の思いを聞き、これまでの講師を交えて、南薩の水産業における課題をまとめ、解決策についてアイデアを出し合いました。

これまでの学びを通して分かった課題について、自分たちにできることを考え、他ブロックの人たちに提案しました。

提案1: SNS等の発信や漁師体験などを通じて若い人たちが興味を持つきっかけ作りをする。

提案2: 南薩の中高校生による学校の枠を超えた6次産業の整備を行う。

- 1次産業(生産) → 鹿児島水産高校
- 2次産業(製造) → 薩南工業高校
- 3次産業(販売) → 地元中学校・高校

